

つなプロレポート ＜実績まとめ編＞

2011年9月9日



被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)

「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」(つなプロ)とは

ミッション

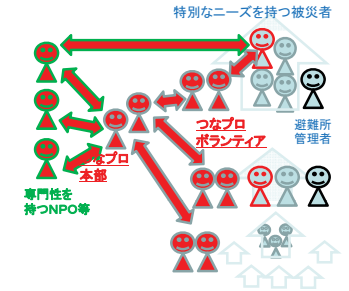
避難先でのこれ以上の死者、状況悪化者を出さない

活動定義

そのために避難所等での課題・困りごとを「発見」し、専門NPO・限定物資・疎開先などと「つなげる」こと

具体的な実施内容

- ① 避難所の現状把握・評価(アセスメント)
- ② ピンポイント支援
特別なニーズを持つ被災者のニーズを専門性を持つNPOにつなぐ
(例. 妊産婦、要介護者、外国人(言語)、障害者、アレルギー、難病患者等)
- ③ その他、被災地への継続的支援



つなプロ実施体制図

幹事会

- ・せんだい・みやぎNPOセンター
- ・IIHOE
- ・ダイバーシティ研究所
- ・スペシャルサポートネット関西
- ・日本財団
- ・ETIC.

つなプロ全国事務局 (スペシャルサポートネット関西)

- ・アセスメントツール、マッチングリソースの管理と共有
- ・つなプロ全国会議主催、各つなプロ間の情報共有、情報発信
- ・共通会計管理

共通の機能を基盤とした協力関係、ネットワークの形成

宮城県内 (みやぎ連携復興センター)

- ・アセスメントツール
- ・マッチングリソース の移管

いわて連携復興センター

ふくしま連携復興センター

つなプロ機能の地元移管と、

共通の機能を基盤とした協力関係、県内ネットワークの形成

市町 つなプロ
例: 宮城県南部

市町 つなプロ
例: 石巻市

市町 つなプロ
例: 石巻雄勝地域

市町 つなプロ
例: 南三陸

市町 つなプロ
例: 気仙沼

つなプロ これまでの実施過程

フェーズⅠ (宮城県内避難所のニーズアセスメント)

- ・3月17日(木)~5月1日(日):
関東・関西から毎週ボランティアを派遣、避難所の巡回訪問とニーズ調査。支援団体・機関と随時マッチング



フェーズⅡ (拠点避難所の運営補助と、避難所周辺のニーズ把握)

- ・5月19日(木)~7月6日(水):
長期インターンとボランティアによる、10程度の避難所での継続的な支援と、周辺地域のアセスメント (石巻市、雄勝・牡鹿地方、南三陸町、登米市、気仙沼大島)



フェーズⅢ (「つなプロ」の各市町展開、地元団体の立ち上げ)

- ・7月中旬~
「つなプロ」機能の地元への移行、仮設住宅周辺環境調査 支援団体間の連携の場づくり等 ニーズ情報に基づくプロジェクト開発



フェーズ I 現地活動の様子



1日目は全体オリエンテーションを実施



各地から集まったボランティア



ある避難所の様子



避難所の管理者へアセスメント



毎日、ふりかえりを実施



データベースにアセスメント情報を入力



毎朝出発前に確認ミーティング



次週のチームへの申し送り



仙台市での宿泊場所・香林寺



応即のため事務所に常備した物資



延べ378名のボランティアが参加



65のニーズマッチングを完了

4

フェーズ I のべ378人のボランティアが計33日間、宮城県内443か所の避難所を計965回訪問 5週間にわたって22の市区町村の避難所を巡回、505件のニーズを発見



期間	ボランティア数	巡回避難所数	ニーズ数	巡回エリア
先遣隊 (3月17日～3月28日)	6名		8件	塩竈市、岩沼市、気仙沼市、山元町、七ヶ浜町、大川町、松島町、石巻市、仙台市
第1期 (3月29日～4月3日)	76名	310か所	62件	宮城野区、仙台市若林区、仙台市青葉区、仙台市太白区、多賀城市、大崎市、登米市、東松島市、南三陸町、美里町、名取市、湧谷町、利府町、亶理町の合計22エリア
第2期 (4月4日～4月10日)	103名	219か所	168件	
第3期 (4月11日～4月17日)	119名	207か所	131件	
第4期 (4月18日～4月24日)	29名	114か所	62件	
第5期 (4月25日～5月1日)	51名	115か所	74件	
合計	378名	965か所	505件 うち対象内*232件	

ステータス	対象内	対象外	総計
マッチング先 対応完了	45	20	65
マッチング先 引受中	49	1	50
マッチング先探索・調整中	55	3	58
要詳細確認	24	136	160
対応停止	59	98	157
総計	232	273	505

* ヒアリングしたニーズのうち、つなプロとして取り組むべきだと考える特別なニーズを対象内として抽出、優先的にマッチングに取り組みました。

5

フェーズ I 合計65のニーズへのマッチングが完了



対象	主なニーズ(数)	つないだ対象(数)	提供内容(数)
全員共通	日用品(5件)、ライト(4件)、トイレ(3件)、医療機器(2件)、医療支援(2件)、衣料品(2件)、衛生用品(2件)、食料品(2件)、寝具(2件)、雨具(1件)、医療用品(1件)、衛生管理支援(1件)、おもちゃ(1件)、学用品・文房具(1件)、身体ケア(1件)、靴(1件)、健康管理用品(1件)、清掃用品(1件)、調理器具(1件)、通信機器(1件)、電化製品(1件)、ペット用品(1件)	つなプロ物資(15件)、物資支援系NPO(13件)、個人ボランティア(3件)、医療関係団体(2件)、コーディネート系NPO(1件)、行政機関(1件)、ペット支援NPO(1件)、企業(1件)	物資支援(30件)、人員支援(4件)、情報支援(3件)
高齢者	トイレ(10件)、医療支援(3件)、移動支援(3件)、衛生用品(3件)、介護支援(2件)、介護用品(2件)、食料品(1件)、日用品(1件)、寝具(1件)、健康管理用品(1件)	つなプロ(8件)、行政機関(5件)、介護支援系NPO(4件)、看護系NPO(3件)、社会福祉協議会(2件)、移動支援系NPO(1件)、コーディネート団体(1件)、物資支援系NPO(1件)、アート系NPO(1件)、高齢者支援系NPO(1件)	物資支援(11件)、人員支援(10件)、情報支援(6件)
	身体障害者(9件)、精神障害者(4件)、聴覚障害者(3件)、視覚障害者(1件)、発達障害者(1件)、知的障害者(1件)、パニック障害者(1件)	行政機関(11件)、聴覚障害者系NPO(3件)、個人ボランティア(2件)、視覚障害者支援系NPO(1件)、つなプロ(1件)、看護系NPO(1件)、社会福祉協議会(1件)	情報支援(10件)、人員支援(6件)、物資支援(4件)
	赤ちゃん用品(6件)、食料品(5件)、健康管理用品(1件)、虐待対応(1件)	子ども支援系NPO(6件)、つなプロ(4件)、行政機関(1件)、物資支援系NPO(1件)、母子支援系NPO(1件)	物資支援(12件)、情報支援(1件)
	医療支援(2件)、心のケア(2件)、介護支援(1件)	行政機関(2件)、心のケア系NPO(1件)、福祉支援系NPO(1件)、つなプロ(1件)	人員支援(4件)、情報支援(1件)
	食料品(3件)、スキンケア用品(1件)	アレルギー系NPO(2件)、企業(2件)	物資支援(4件)
	辞書(1件)	つなプロ物資(1件)	物資支援(1件)

フェーズ I 多賀城市と市内の避難者全員を対象に合同アンケートを実施



	総避難者	配布数	回答者数	対総避難者数
避難所A	430	338	189	55.9%
避難所B	30	20	15	50.0%
避難所C	90	80	27	30.0%
避難所D	450	368	198	44.0%
不明			3	
	1,000	806	432	43.2%

○ 今回のアンケートは 総避難者に対し、80.6%の方にアンケート調査票を配布し、配布したアンケート調査票のうち、53.6%の方より回答を受けた。
○ それは、総避難者数の、43.2%から回答を受けたことになる。
○ 総避難者は、調査票を配布した4月28日時点の人数である。

- 概要
 - 調査主体
 - : 多賀城市
 - : 被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)
 - 調査企画実施
 - : 被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)
 - : 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター(多賀城市市民活動サポートセンター事務局)
- 調査
 - 多賀城市内4か所の避難所の避難者全員へ、文書を通じたアンケート調査。
 - 調査票回答者は高校生以上の全員を対象とする。
 - 中学生以下の子ども状況については、その保護者からの回答内容によって把握する。
- 配布方法
 - つなプロスタッフと多賀城市市民活動サポートセンタースタッフが、4月28日(木)・29日(金)夕食の配布時刻(17:00～21:00)に合わせ、調査票を避難者に個別に配布する。

7

専門サービスを有する団体・企業との会議を東京・関西で合計10回開催、ニーズを共有し「つなぐ先」として準備



【東京会議】

回	実施日	参加人数	参加団体	会議の概要
1	3/29	19	16	つなプロの概要説明、各団体の自己紹介と検討している支援の共有等。
2	4/1	12	10	アセスメントの最新状況について共有。参の各団体による支援活動の状況や課題についての意見交換。中長期的な支援に求められる組み立てについての討議。
3	4/8	15	12	
4	4/12	8	6	
5	4/15	20	12	
6	4/21	16	13	つなプロの今後の活動方針についての説明。今後の支援について参加者を交えた議論。

<参加団体>
 アスデーマネーション(株)アスリートサポート(株)アスリートサポート地球の子ネットワーク/and/amet(株)ワイローダー(特)Wel's新木場/(特)MSキャンピ(特)おたの市民活動推進機構/(特)東京都自明症協会/NPOかわせみ/(特)キッズア(特)グレースケア機構/ケアプロ(株)/(特)CRファクトリー/シュアールグループ(社)全日本聴覚者・中途失聴者団体連合会/ノーケルグループ(株)ソノエンジニアシエツウソモロデューサー/ソフトバンク(株)/(特)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ/東京都助産師会(特)日本DDMネットワーク(株)日本発達障害ネットワーク/日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト(特)ハブリックリソースセンター東日本大震災被災者支援ネットワークちば富士通(株)/(特)ふわり(株)マロボス在宅医療 祐ホームクリニック

【関西会議】

回	実施日	参加人数	参加団体	会議の概要
1	4/3	23	17	つなプロの概要説明、各団体の自己紹介と検討している支援の共有等。
2	4/13	26	21	アセスメント分析の共有。各団体が支援を考える際のポイントの説明等。
3	4/21	15	10	
4	5/6	12	10	つなプロの今後の活動方針についての説明。今後の関西からの支援について参加者を交えた議論。

<参加団体>
 アルギーネットワーク京都びいちゃんねっと/SIOネットワーク 慶典院寺町就業部大阪ボランティア協会/NPO法人京都海外協力協会/NPO法人参画プラネット/NPO法人サンフェイス/シチズンシップ共育企画/市民活動センター神戸/NPO法人しらく/株式会社出産社/NPO法人生涯学習サポート兵庫/積水ハウス株式会社/NPO法人ソーシャル・デザイン・ファンド/ダイバーシティ研究所/NPO法人タッチケア支援センター/NPO法人多文化共生マナージャー-全国協議会/NPO法人多文化共生リソースセンター東海/NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス/NPO法人テラ・ルネッサンス/NPO法人トイボックス・マイルファクトリー/日本患者学会/NPO法人バーキンソン病支援センター/ひょうごんテック株式会社/フェリシモ株式会社/福井/NPO法人プレーンヒューマニティー/NPO法人みらいずLive on わかやま/NPOセンター

フェーズⅡ 現地活動の様子



避難所運営支援の一環として、物資担当として物資倉庫の管理、2次、3次避難所に対する物資の発注及び配給作業を実施することもありました。



周辺避難所等をまわり、ニーズの把握や、今後、つなプロの活動を地元で連携して進めていくためのキーパーソンの方々との関係構築にも努めました。その結果、各地で自治体や支援団体と連携した活動を展開しています。



(株)ケアプロと共同で、避難所避難者の簡易健康診査、生活習慣病予防検査を実施。糖尿病の血液検査、血圧測定、健康相談を実施しました。



仮設住宅の周辺環境調査を実施。集会室を利用したイベントの実施にも協力しました

フェーズⅡ 主な活動内容(1)

宮城県北部の約10か所の避難所周辺ニーズを継続的に調査



1. 避難所を拠点とした被災者ニーズの把握

宮城県内(おもに北部)の10か所程度の避難所などを拠点として、その運営をお手伝いしながら、ニーズの把握と、地域の方々との接点づくりを進め、避難所および周辺の自宅避難者の方々のニーズの把握に努めました。

(主な対象地域:石巻市、雄勝・牡鹿地方、南三陸町、登米市、気仙沼大島)

ニーズアセスメントの結果については下記の分析レポートを作成、発信しました。

・5/20～6/2の避難所アセスメント第2弾第1、2週目の分析(6/7に発表)
<http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/34461#34461>

・6/3～6/9の避難所アセスメント第2弾第3週までの分析(6/11に発表)
<http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/34522#34522>

・6/10～6/16の避難所アセスメント第2弾第4週までの分析(6/20に発表)
<http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/34462#34462>

・6/17～6/30の避難所アセスメント第2弾第5、6週までの分析(7/7に発表)
<http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/34700#34700>

延べ約228人のボランティアを避難所運営補佐、ニーズアセスメント要員として派遣

5/19～7/7(ボランティア派遣は実質7/20まで)の期間、避難所運営補佐、被災者ニーズ把握のため、宮城県内(一部東京・関西)からのボランティアを中心に、延べ約228人、毎週平均25人程度のボランティアを収集し(1週間単位で募集し、数週間滞在したボランティアも多かったです)、研修の後、各拠点避難所等での運営サポート、ニーズアセスメントを実施しました。

フェーズⅡ 主な活動内容(2)

避難所避難者の健康診査、仮設住宅周辺環境調査を実施、情報発信



2. 特別な支援を必要とする方への支援のマッチング。地元密着で現場完結型のマッチングを実施。

避難者ニーズ、アセスメント結果分析を受けて、連携する専門NPO等にニーズ情報を伝え、専門的支援の実施に向けた支援を行いました。

* マッチング成果についてはP7-10参照

3. (株)ケアプロと共同で、「被災地での生活習慣病の早期発見と予防のための検査」を実施。

(株)ケアプロとともに、避難所避難者の簡易健康診査、および生活習慣病の早期発見と予防のための検査を実施しました。

* 詳細はP11 参照

4. 石巻復興支援ネットワークと協働で、「石巻市の仮設住宅団地周辺環境調査」を実施。

石巻復興支援ネットワークと、つなプロは、2011年7月に宮城県石巻市にて仮設住宅団地周辺環境調査を実施しました。

* 詳細はP12 参照

5. つなプロポータルサイトの構築

これまでのつなプロの活動成果を整理し、わかりやすく発信するための「つなプロポータルサイト」を構築、7/11にオープンしました。

つなプロポータルサイト: <http://www.hnpo.comsapo.net/portal/tsuna-pro/portal.index>



フェーズⅡ マッチング件数

第2フェーズ(5月19日～7月6日まで)のマッチング状況概略

全ニーズ件数	68件
マッチング件数(完了+引受中)	39件
マッチング進捗率	57.4%
現場対応件数	31件
本部対応件数	37件
現場マッチング率	45.6%

* つなプロマッチング班、現場スタッフがつかない件数。
このほか、各エリアマネージャーが独自に個人でつかない案件も多数あります。
* ヒアリングしたニーズのうち、つなプロとして取り組むべきと考える特別なニーズを優先的にマッチングしました。

各エリアマッチング内訳

エリア	石巻(雄勝を除く)	雄勝	南三陸(登米含む)	気仙沼(大島)	その他
ステータス	合計件数 (現場対応/本部対応)				合計件数 (本部対応のみ)
マッチング完了	14件(9件/5件)	1件(0件/1件)	6件(4件/2件)	3件(0件/3件)	9件
マッチング先引受中(依頼済)	2件(2件/0件)	1件(0件/1件)	2件(2件/0件)		1件
マッチング先調整中	1件(1件/0件)			1件(0件/1件)	
マッチング先探索中	4件(3件/1件)	1件(0件/1件)	7件(5件/2件)	1件(0件/1件)	
要詳細確認		5件(1件/4件)			
要情報共有		2件(0件/2件)			
継続観察必要					
対応停止	3件(2件/1件)	2件(0件/2件)	2件(2件/0件)		
合計	24件(17件/7件)	2件(1件/1件)	7件(13件/4件)	5件(0件/5件)	10件
			68件(31件/37件)		



フェーズⅡ ニーズ内容の事例(抜粋)

避難所	避難所エリア	ニーズ発生日	ニーズ名	ニーズ内容	つなぎ先名	つなげたこと、もの、経緯など
A	南三陸町	6月12日	日本舞踊の練習者が欲しい	練習者が一番もなく、3～4着あれば練習できること。震災前は近所のサークル(10人規模)で日本舞踊をやっていた、年に二度の発表会に参加し、老人ホームなどにも慰問を行っていたとのこと。	日本民謡・舞踊連盟	アセスメント参加スタッフを通して日本民謡・舞踊連盟に打診、練習者の提供が可能との返答。以降現場スタッフと受け渡し等について調整中。
B	南三陸町	5月24日	高齢者向けレクリエーション	高齢者が体を動かすことが少なく、運動不足が懸念されるので、高齢者が楽しめる体操のようなものを継続的に実施してくれる団体を求めている。	となりのかいこ(NPO)	となりのかいこにレクリエーションの提供を依頼。6/5で、避難所の受け入れOK。避難所担当者で直接やりとりして、レクリエーションを実施。
C	石巻市	6月7日	子供のストレスケア	中学生の娘が被災した際かなりのショックを受けており、1人で風呂に入れないなど、水に対して恐怖感を抱き続けている。	宮城県子ども総合センター	宮城県子ども総合センターに相談。石巻市役所の2階で週一回木曜日に実施している支援の情報を得る。先方に相談者のことを伝え、相談者に電話番号を伝えた。
D	石巻市	5月24日	褥瘡(床ずれ)予防のためのジェルマット(1個)	足が悪くて移動せず、座布団もひかすにずっと座っている状態。赤くなり始めているので褥瘡ができる前にジェルマットを敷きたい。対象者は移動に支障があり、オムツを使用している。入浴なども本人が拒否していて、要介護認定の申請もしていない状態。	石巻保健センター	石巻保健センターの担当者連絡先を現場スタッフに伝える。その後石巻保健センターから連絡があり、ジェルマットの手配完了。
E	石巻市	5月24日	自転車(10台)	ネットワーク会議で避難所の自転車ニーズが浮上。	湊小学校	近隣のほかの避難所(湊小)から10台提供可能かどうか調整し、台数や運搬方法について相談。10台提供可能となったので、双方で軽トラ出し、運搬。



フェーズⅡ マッチングしたニーズの主な内容

対象	主なニーズ(数)	つないだ対象(数)	提供内容(数)	
全員共通<20件>	衣食住支援(食品、服、トイレ、寝具等)<8件>、 余暇・娯楽支援<4件>、 医療支援・医療用品(薬含)<3件>、 日用品<3件>、 その他<2件>	つなプロ物資<12件>、 心のケア系NPO<3件>、 その他<1件>、企業<1件>、 コーディネーター系NPO<1件>、 物資支援系NPO<1件>、 行政機関<1件>	物資支援<15件>、 人員支援<4件>、 情報支援<1件>	
少数者<17件>	高齢者<10件>	余暇・娯楽支援<9件>、 介護支援・介護用品<1件>	個人ボランティア<6件>、 行政機関<1件>、 高齢者支援系NPO<1件>、 コーディネーター系NPO<1件>、 つなプロ物資<1件>	人員支援<8件>、 物資支援<2件>
	障害者<1件>	発達障害者支援<1件>	障害者支援系NPO<1件>	人員支援<1件>
	子ども<4件>	乳幼児支援・乳幼児用品<3件>、 心のケア・身体のケア<1件>	つなプロ物資<2件>、 子供支援系NPO<1件>、 行政機関<1件>	物資支援<2件>、 情報支援<2件>
	患者<2件>	衣食住支援(食品、服、トイレ、寝具等)<1件>、 医療支援・医療用品(薬含)<1件>	障害者支援系NPO<1件>、 心のケア系NPO<1件>	情報支援<2件>
	アレルギー<0件>	なし	なし	なし
	外国人<0件>	なし	なし	なし



避難所	避難所エリア	ニーズ発生日	ニーズ名	ニーズ内容	つなぎ先名	つなげたこと、もの、経緯など
F(個人宅)	東松島市	6月7日	救急箱(1個)	3世帯が避難しているが、どけ抜きや虫刺されの家、頭痛薬など一式がないので、救急箱を送ってほしい。	つなプロ	本部にあった救急箱を宅配便にて手配。不足していた絆創膏、虫刺されの薬をドラッグストアで購入した。
G	女川町	5月28日	転居、住宅相談	現在二次避難しているが、避難所を退所するにあたって住居に関する相談にのってほしい。障害者一級があり、腎臓障害(人口透析)である。仮設住宅に入るべきか、民間の賃貸で迷っているが、通っている病院の近くがよい。	被災地障がい者センターみやぎ	被災地障がい者センターみやぎに連絡し、相談者の連絡先を伝え依頼を依頼。
H(仮設住宅)	仙台市太白区	6月11日	発達障害の子供に関する相談	発達障害の子供にも津波のフラッシュバックが時々あり、自身の手足を噛むなど自傷行為をしよう。仮設住宅に入居して学校も転校するため、環境が変わるので心配。何かあった時の相談できる場所が欲しい。	仙台市発達相談支援センター(アーチル)	被災地障がい者センターみやぎに発達相談支援センター(アーチル)を紹介され、連絡し、お母様の電話番号をお伝えして対応を依頼。

* このほか、支援提案型(「こういう支援をしたいが、ニーズはないか」という問合せへの対応)についても、4件程度をマッチングした

「避難所における生活習慣病の早期発見と予防のための検査」概要



■検査概要

「つなプロ」が5月から継続巡回している宮城県内7箇所の避難所において、生活習慣病の早期発見と予防のための検査を、「ケアプロ」が実施した。避難所生活では、不眠や栄養の偏り、運動不足などによる高血圧や糖尿病などの慢性疾患の進行が懸念されるため、避難所内で実施可能な自己検査キットを用いて、延べ453名に対し、HbA1c(糖尿病)やアルブミン(栄養状態)などの検査を実施。避難所ごとの検査結果を同所内の診療所の医師や近隣から往診する医師に伝え、必要な方には診察・処方していただいた。ケアプロの看護師が検査する際に、検査を受ける方の悩みや必要な相談窓口などを、つなプロスタッフがアセスメントした。

■検査実施場所と実施数

やすらぎ荘(N=6)、万石浦中学校(N=46)、善王寺(N=21)、湊小学校(第1回N=88、第2回N=77)、石巻中学校・門脇中学校(N=118)、階上中学校(N=97)

■実施期間：5月1日～6月26日

■実施主体

- 被災者をNPOとつなプロで支える合同プロジェクト(つなプロ)
- ケアプロ株式会社
生活習慣病と医療費削減をミッションに、健診弱者を救うためのワンコイン健診を展開。
3月28日からつなプロの一員として宮城県に看護師を派遣し、避難所の実態把握のためのアセスメントを行った。
また、ボランティアの健康管理として、ボランティアの検温や怪我の処置、感染症者の医療機関搬送などを行った。
ホームページ: <http://carepro.co.jp>
- RCF災害支援チーム(分析担当)
ホームページ: <http://rcf311.com>

■検査の結果: <http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/34674#34674>

ケアプロ株式会社のプレスリリース(PDF): <http://carepro.co.jp/press20110707.pdf>

「石巻市の仮設住宅団地周辺環境調査」概要



石巻復興支援ネットワークと協働で、「石巻市の仮設住宅団地周辺環境調査」を実施

■調査概要

「つなプロ」の現地パートナー団体である「石巻復興支援ネットワーク」が中心となり、7月に宮城県石巻市にて仮設住宅団地周辺環境調査を実施しました。

これは、石巻市内の仮設住宅団地の周辺環境について、買い物(食料品、日用品、衣料)や食堂等とのアクセス、病院・市役所・学校へ公共交通を使っているか、集会所の設置有無などについて調査したものです。

調査の結果、

- ・5割以上の仮設住宅では買い物ができる場所が徒歩圏内になく、食生活を送るための宅配・配送サービスが必要な地域が存在すること
 - ・病院・市役所・学校へ公共交通を使っても行けない団地が10%強あること
 - ・25%の団地では集会所が設置されておらず、対応が必要であること
- などがわかりました。

これらの結果をもとに、今後仮設住宅に対する支援の活動を展開してまいります。

■調査結果: <http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/734/35163#35163>

つなプロ フェーズⅢ



○特別な支援を必要とする方への支援のマッチングリソースの更新と共有

高齢者・障害者への介助・ケアなどのニーズに対しては、現地でのつなぎ(マッチング)をさらに強化できるよう、専門性を持つ団体との関係構築をさらに広げます。また、地元の団体と県外のNPOとをつなぎ、人手やノウハウの提供による支援の実施を行います。

さらに各テーマ別の専門的ケアについて、被災地の活動家、支援者を集めて勉強する機会づくりをしていきます。

○宮城県内外における「つなプロ」の各市町展開、テーマ別展開への体制移行

地元主導による復興を応援し、「つなプロ」の機能を各地域に移管していくために、

- ・「つなプロ」機能の地元NPOへの引き継ぎ
- ・「つなプロ」のアセスメント、マッチング機能・ノウハウの提供(各「市町つなプロ」、および他県へ)
- ・各「市町つなプロ」での独自事業の展開をしていきます。

宮城県内での「つなプロ」機能を地元主導で活用していくために、これまでつなプロのアセスメントとマッチングを担ってきた各エリア(主に石巻、気仙沼大島、南三陸、仙台市・多賀城市を中心とする県南地域において、「市町つなプロ」としてエリアごとに事業を独立させ、それぞれが地元の団体等と協働し、ボランティア受け入れや仕事づくり、仮設住宅団地のアセスメントなど、独自事業を展開させていきます。

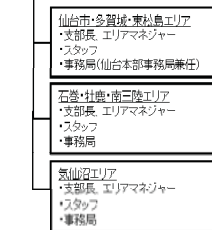
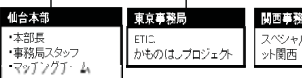
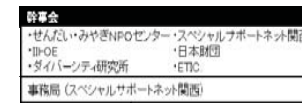
また、これまで「つなプロ」全体で蓄積してきたアセスメント項目・データや、マッチングのための機能を、各市町つなプロをはじめ、協力関係にあるNPO等が相互に活用できるよう、ノウハウや情報の提供をさらに進めます。

こうした体制の変更に伴い、これまで主に宮城県域で実施してきた「つなプロ」の実施体制を段階的に次項のように移行します。

つなプロ実施体制の移行

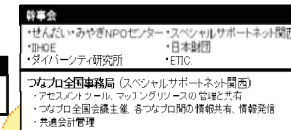


<フェーズⅡまで>

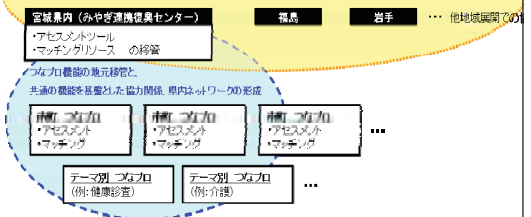


<フェーズⅢ以降>

「つなプロ」の南定産「組織」から「機能」へ = アセスメント・マッチングの機能 (共有アセスメントツール、地元密着のマッチング力) + 広域でのマッチングリソースの共有



共通の機能を基盤とした協力関係、全国ネットワークの形成



つなプロ 各市町展開



■宮城県南部(多賀城市等)

- ・仮設住宅支援者、管理団体のネットワーク会議
課題・ニーズ対応の共有
- ・仮設住宅住民の活動支援

■石巻市(石巻復興支援ネットワーク)

- ・仮設住宅団地内集会所を活用したイベントによる
コミュニティー形成
(お茶会、手芸教室、絵手紙、ウォールペイント...)
- ・いきがい仕事、おしゃれな内職仕事等の創出

■南三陸町

- ・仮設住宅 コミュニティ再生事業
(『お茶っこcafé』、居酒屋事業、ワークショップ、
イベント等)

■石巻雄勝地域

- ・仮設住宅 コミュニティ支援事業
移動おぢやっこ
専門家(講師・専門ケア)招聘、セミナー開催

■気仙沼(大島)

- ・全戸調査、要支援者・孤立世帯の発見
- ・病院等への送迎、医療へのつなぎ
- ・地元ボランティア団体と外部支援者のつなぎ
- ・行政との連携

20

スペシャルサポートネット関西(スペサポ) 今後の活動



スペサポ 3つの柱

1. ワークキャンプ、ニーズ対応のプロジェクトづくり

ex. 「ベンチ・縁台づくり」:

資材提供(企業提供)+ボランティア収集+仮設住民集まる場づくり
「越冬プロジェクト」「物置プロジェクト」「駐車場標識プロジェクト」...

2. 神戸スタディツアーづくり

被災地の地元団体、復興キーパーソン、支援者の中長期視点学ぶ場づくり

3. 専門家アセスメント

現地団体のアセスメントに、専門家視点を入れる

ちなみに... 関係の整理

